「悔いの残らないように全力で」大会出場を報告

第76回青森県中学校体育大会夏季大会に出場が決まった中学生７名（柔道：中里中学校５名、陸上：中里中学校１名、小泊中学校１名）と、第44回東北学童相撲大会及び令和７年度JOCジュニアオリンピックカップ、第38回全日本小学生相撲優勝大会東北ブロック予選会に出場する薄市小学校の児童３名は７月28日㈪、中泊町役場を表敬訪問し、三上副町長と鈴木教育長に全力で健闘することを誓いました。

三上副町長と鈴木教育長は「せっかく出場できる大きな舞台、実力が発揮できないともったいない。悔いのないよう全力でがんばってください。」と激励しました。

退任人権擁護委員に 法務大臣感謝状を伝達しました

今年の６月で人権擁護委員を退任した秋田谷徳美さんは７月30日㈬、長年にわたり人権擁護委員として貢献したとして、法務大臣から感謝状が贈られました。

役場で行われた伝達式では、青森地方法務局五所川原支局から秋田谷さんへ感謝状が手渡され、三上副町長も同席しました。

三上副町長は「大変喜ばしいこと。これまでの人権擁護委員としての町への貢献に感謝申し上げます。」と敬意を表しました。

生まれ育った地元 福浦の日常を切り取って

写真愛好家団体「フォトグループ葦」の顧問で、長年生まれ育った福浦に在住する竹内恭一さんはこのほど、これまで20年ほど撮りためてきた福浦の写真150点余りを一冊の本にまとめた「ふるさと福浦」を作成しました。

完成した写真集を近隣に配布すると「懐かしくて何度も見返した」など写真に収められた時代時代を懐かしむ声が聞かれました。

竹内さんは「昔はお店もたくさんあってとても賑やかだったけど、だんだん閉店するお店も多くなりさみしくなった。写真集を見て少しでも懐かしんでもらえれば」と話し「年のことも考えてグループのメンバーと協力しながら今後も写真を撮っていきたい」と抱負を語りました。

竹内さんの作成した「ふるさと福浦」は、中泊町図書館で貸し出し中です。

葛西そでさん100歳顕彰　お誕生日おめでとう!!

中泊町 宮野沢の葛西そでさんが8月10日㈰に100歳の誕生日をむかえ、８月11日㈪、濱舘町長がきりん館を訪れ、顕彰状を手渡してお祝いしました。

葛西さんはこども２人、孫２人に恵まれ、津軽鉄道の作業員として枕木の交換作業などを行いました。現在はベッドのうえで過ごすことが多いそうですが、この日は体調もよく起き上がって町長の訪問に応えてくれました。

葛西さん100歳のお誕生日おめでとうございます!! これからも健やかにお過ごしください。

三國谷とき江さん100歳顕彰　お誕生日おめでとう!!

中泊町 薄市の三國谷とき江さんが100歳の誕生日をむかえた８月14日㈭、濱舘町長が三國谷さんの自宅を訪れ、顕彰状を手渡してお祝いしました。

三國谷さんはこども３人、孫３人に恵まれ、この日はこども3人とその家族がお祝いに駆け付けました。

長生きの秘訣は家族いわく「なんでもたくさん食べること」だそうです。

三國谷さん100歳のお誕生日おめでとうございます!! これからも健やかにお過ごしください。

外﨑カチヱさん100歳顕彰　お誕生日おめでとう!!

中泊町 宮野沢の外﨑カチヱさんが８月17日㈰、100歳の誕生日をむかえ、８月18日㈪、濱舘町長がグループホーム宝森を訪れ、顕彰状を手渡してお祝いしました。

外﨑さんはこども４人、孫８人に恵まれ、この日はこども３人と孫１人がお祝いに駆け付けました。

長生きの秘訣は「なんでもひとりでできるようにすること」と話し「いまでも洗濯は自分でするし、歩くのも苦にならない」と教えてくれました。

外﨑さん100歳のお誕生日おめでとうございます!! これからも健やかにお過ごしください。

宝富士関が中泊町相撲道場の稽古に参加しました

８月18日㈪、伊勢ケ濱部屋の力士である宝富士関が地元中泊町を訪れ、自身も汗を流した中泊町相撲道場でこどもたちを指導しました。

この日道場に集まったこどもたちは９人で、中泊町のほか五所川原市や鶴田町から集まっています。

宝富士関が道場に登場すると、いつもとは違ってそわそわした様子を見せていましたが、いざ稽古が始まると真剣な様子で四股踏みを始めました。

「まるで岩みたいだった!!」

高学年のこどもたちは宝富士関とのぶつかり稽古も行いました。首を痛めないよう念入りにストレッチをしたあと果敢にぶつかっていき、顔を真っ赤にしながら立ち向かいます。

宝富士関はかわりばんこに向かってくるこどもたちに対し「もっと下から押して」「いいぞ、その調子」などの言葉をかけていました。

こどもたちに稽古後の感想を聞くと「重くて力が強くて、体の筋肉がすごかった」や「鉄やコンクリートを押しているみたいだった」と現役力士の力に驚いていました。

宝富士関へインタビュー

こども達が稽古に打ち込んでいる様子はいいものですね。
自分がこどもの頃はもっと力で相撲をとっている感じだったけど今のこどもたちは小さな子でもちゃんと技術を磨いていて、見ていてびっくりしました。みんないい相撲をとります。

来場所は自分にとって勝負の場所になるのでしっかりと意識してこどもたちに負けないようにがんばりたいです。

中泊町のみなさん、応援よろしくお願いします。